

一般質問

一般質問とは、議員が市の施策の状況について質問することです。

第2回定例会では、

6月13日、14日、15日の3日間にわたり

16人の議員が一般質問を行いました。

その要旨をお伝えします。

※原稿は、議員自身が要約し作成しています。

※答弁内容は、6月時点のものです。



《Q》 関東大震災 100 年にあたり黙とうを行うべき

《A》 国からの弔意表明依頼があった場合は実施する



高田 和登 議員（新国会）

関東大震災

100年にあたり

質問 地震が発生して100年になる令和5年9月1日午前11時58分に、防災行政無線を使い、黙とうを行うべきではないか。

市長 国からの弔意表明依頼があった場合は実施する。

質問 都が実施している出前講座を活用して市民への防災啓発を行っては。

市長 区市町村出前講座は市民の皆さまに周知するとともに、職員の受講についても検討する。町会・自治会出前講座は町内会連合会役員会を通じ、情報提供を行った。

質問 「東京都防災アプリ」

を広報で周知すべきでは。

市長 今後は、広報はむら等でも周知する。

熱中症対策について

質問 製薬会社との包括連携協定の具体的内容は。

市長 熱中症対策講習会への講師派遣を実施したほか、予防啓発ポスターの作成を予定している。健康増進に關してはセミナー等への講師派遣など実施内容を踏まえ、協議していく。

質問 昨年夏から実施の「クールシェアスポット」は、市公式サイトだけではなく、広報で周知すべきでは。

市長 熱中症対策として利用いただけるよう広報はむらでも周知する。

質問 学校内で熱中症が発生した場合の対応はマニュアル化され、教職員間で徹底しているか。

教育長 「熱中症対策ガイドライン」に則り、各学校の校内研修等で全教職員に共有している。



関東大震災の惨状。銀座四丁目付近（内閣府公式ウェブサイトより）



《Q》防犯カメラの増設を望む声が多いが、設置計画は
《A》今後、必要性の高い場所に適宜設置していく



中嶋 勝 議員 (公明党)



増設を望む声の多い場所へ防犯カメラの設置を

市民の

安全・安心対策への投資を

質問 防犯カメラの増設を望む声が多いが、設置計画はどうなっているか。

市長 皆様からの要望を考慮するとともに、福生警察署と協議し、今後必要性の高い場所に、適宜設置していく。

質問 可搬式防犯カメラを一定期間、市民へ貸し出す事業を実施してはどうか。

市長 実施している自治体から情報収集するなど、調査研究していく。

「書かない窓口」の導入を
行政のデジタル化でユーザーファースト及び業務の効率化を図るべきである。

質問 各窓口で、それぞれの書類にそれぞれ記入しなければならぬ現状をどう感じているか。

市長 転入、転出時や子育て、学校関係の手続きなど、生や死亡届の手続きなど、複数の窓口で住所、氏名などを記入する必要があり、市民の皆様の利便性の向上が課題であると捉えている。

本年3月に策定した「羽村市デジタル・トランスフォーメーション推進基本方針」では、利便性向上、負担軽減、簡単にできる市民サービスの向上に取り組むこととしており、「書かない窓口」についても、情報収集を行っている。併せて、住民票、印鑑登録証明書、戸籍証明書の請求書等の様式の統合を検討しており、窓口手続きにおける利便性の向上を図っていく。

■その他の質問
LGBTQ性的少数者への理解促進を



《Q》市内の少子化・人口減少の進行への認識は
《A》想定を超えるスピードで進行している



櫻沢 裕人 議員 (新政会)

羽村市の少子化及び人口減少について

質問 市の少子化・人口減少の進行への現状認識を問う。

市長 想定を超えるスピードで進行している。

質問 子育て負担軽減や子育て世帯の流入のため、3世代近居・同居の促進、住宅取得助成事業の創設、住宅金融支援機構との連携に取り組んではいかがか。

市長 今後も羽村市が住みたいまちとして選択されるために、提案の内容も含め、具体的な取組みの検討を進める。

質問 私立幼稚園等園児保護者負担軽減補助金について、多子世帯の子育てへの

経済的負担を考慮し、補助額の増額や要件の緩和を進めてはいかがか。

市長 この補助金は、都の補助事業に加え、市単独で補助を上乗せし、負担軽減に取り組んでいるものである。市民ニーズに答えるべく、国や都が重点的に取り組む制度の活用を前向きに検討していく。

子どもの情報活用能力について
質問 市ではこれまでのICT教育への取組みの結果をどのように生かして、子どもの情報活用能力の向上に取り組んでいるか。

教育長 過去の取組みを生かしてマニュアルを作成し、市内全校に配布した。また、情報教育推進委員会、情報活用能力の育成の在り方を協議の上、カリキュラム等を作成し、各学校で活用している。



羽村市の将来人口推計(第六次羽村市長期総合計画より)



《Q》動物公園の「ぐるっとパス」加入への検討や交渉を
《A》指定管理者と情報を共有し、検討を働きかける



富永 訓正 議員（公明党）

交流人口の増加で
市の活性化を

市の活性化を

質問 公益財団法人東京都市歴史文化財団の「東京・ミュージアムぐるっとパス」がある。来場者増や知名度向上に向け、羽村市動物公園も加入の検討や交渉を進めては。

市長 指定管理者と情報共有し、検討するよう働きかけていく。

これからの公園等の
整備・管理について

質問 遊具や施設等の老朽化対策、維持保全、充実への現状と今後の方向性は。

市長 多様化する市民ニーズ、施設の老朽化、老木・高木化した樹木などの適切



ヒノトントンZOO(羽村市動物公園)
エントランス(羽村市公式サイトより)

な維持管理が課題。指定管理者と、施設の適切な維持・管理に努めていく。

質問 防犯・衛生管理面の取組みや夜間、暗い場所の照明灯をどうしていくか。

市長 防犯面では利用者への声掛けや巡回、夏休み期間の夜間巡回を実施する。衛生面では清掃や巡回を充実し、照明灯はLED化で照度を確保し、防犯対策の強化などに取り組む。

自転車の安全対策について

質問 スタントマンが交通事故の再現をするスケアードストレートの再開や、一般の方が学校等の交通安全教室等に参加しやすくなるよう創意工夫をしては。

市長 関係者の意見を聞きながら検討していく。

質問 都の補助制度を活用し、自転車用ヘルメット購入費の助成をしては。

市長 購入費に対する補助事業を行うため、今次定例会に補正予算を提案した。



《Q》高校生世代の医療費無償化の所得制限撤廃を
《A》引き続き東京都へ要望していく



金子 ひとみ 議員（公明党）

子育て世代の負担軽減を

質問 所得制限により、医療費助成が受けられない高校生世代は何世帯あるか。

市長 5月末日現在190世帯である。

質問 高校生世代の医療費助成の所得制限と義務教育就学児及び高校生世代の窓口負担200円の撤廃を望むがどうか。

市長 多摩26市と連携し所得制限の撤廃や国による制度化を働きかけるよう、引き続き東京都へ要望していく。

支え合い、助け合うまちへ

質問 歩行が困難な高齢者の移動手段の確保をどうするか。

市長 その方の身体の状態



高校生等医療費助成制度で使用するマル青医療証

に応じて、介護タクシーや社会福祉協議会が運行する「ふれあいキャリア」などの利用が考えられる。市は「ふれあいキャリア」の運行に際し、助成を行っている。

質問 外出困難な高齢者へさらに寄り添える支援は。

市長 地域包括支援センターを中心に高齢者一人一人に寄り添い、きめ細やかな支援に取り組んでいく。

質問 ベンチを増設するなど、高齢者に優しいまちづくりは出来ないか。

市長 引き続き公共施設などの敷地内への設置について検討していく。

質問 デマンド交通サービスを導入する考えはあるか。

市長 現時点では、「はむらん」の運行が最も適していると捉えている。少子高齢化、人口減少が進展する中で、さまざまな交通手段の有効性、必要性について調査研究していく。



《Q》部活動改革の渦中、生徒に寄り添う対応を

《A》合同部活動等の取組みを推進していく



石居 尚郎 議員（公明党）

学校教育の改革を

質問 部活動改革の渦中、生徒の活動が第一の視点で生徒に寄り添う対応が必要ではないか。

教育長 単一の学校で特定の分野の部活動を設けることができない場合は、生徒のスポーツ・文化芸術活動の機会が損なわれないよう、合同部活動等の取組みを推進する。

質問 生成AIなど新たな課題への準備と対応をすべからざるではないか。

教育長 児童・生徒の批判的思考力や創造性への影響、個人情報や著作権保護の観点に係るリスクを踏まえた上で、授業における活用が在り方などを、情報教育推進委員会や校長会で示していく。

質問 空き家対策の強化と放置を防ぐ事前の体制整備を急ぐべきではないか。

市長 空き家対策に精通した民間事業者の活用等、効果的・効率的な手法も検討し、適切な管理を促進するための体制整備を検討する。



市内学校での部活動

質問 朝夕の羽村大橋周辺の渋滞により、通過車両が抜け道として通学路に入ってきている。通学路の安全対策の強化を望むが、対応を聞く。

市長 福生警察署からの助言を受け、様々な安全対策を講じている。今後も適切な安全対策を講じていく。

質問 朝夕の羽村大橋周辺の渋滞により、通過車両が抜け道として通学路に入ってきている。通学路の安全対策の強化を望むが、対応を聞く。

市長 福生警察署からの助言を受け、様々な安全対策を講じている。今後も適切な安全対策を講じていく。

質問 朝夕の羽村大橋周辺の渋滞により、通過車両が抜け道として通学路に入ってきている。通学路の安全対策の強化を望むが、対応を聞く。

市長 福生警察署からの助言を受け、様々な安全対策を講じている。今後も適切な安全対策を講じていく。



《Q》電子図書館の導入についてどう考えているか

《A》導入にあたって多角的な検討を進めている



秋山 義徳 議員（新政会）

図書館の

利便性向上について

質問 電子図書館の導入についての考えは。

教育長 令和5年6月現在、多摩地域で電子図書サービスを行っている公共図書館は15館ある。第四次羽村市子ども読書活動推進計画において、電子図書館による資料の充実を掲げており、導入にあたって多角的な検討を進めている。

質問 羽村駅前周辺と都市計画道路3・4・12号線の早期整備を優先的に行うための整備手法を庁内で検討を進めていくのか

質問 換地先で新しく生活を始めた方々に意見聴取を行う事で、今後の移転対象となる方々の参考となると思うがいかがか。

市長 移転交渉過程での協議の中で、様々な要望や、時には厳しい意見をいただいている。改めて特別な機会を設け、意見聴取を行う考えはない。

市長 移転交渉過程での協議の中で、様々な要望や、時には厳しい意見をいただいている。改めて特別な機会を設け、意見聴取を行う考えはない。



プリモライブラリーはむら(羽村市図書館)



《Q》どのように実現する？「こどもまんなか社会」

《A》質の高い市民サービスを提供できる組織を整備する



大塚 あかね 議員（令和かがやき（立憲・無所属））

羽村市は

「こどもまんなか社会」を
どのように実現するのか

こども家庭庁が発足し、
こども基本法も施行された。

自治体には、子どもに関する
施策や計画策定時には子ども
の意見を聞くことが義務
付けられた。

質問 「こども計画」を策
定する予定はあるのか。

市長 次期子ども・子育て
支援事業計画と一体的に策
定する。

質問 市の施策について、子
どもの意見を聞くべきでは。

市長 アンケートやニーズ
調査により、子どもや子育
て家庭の意見を把握する。

質問 ユースヘルスケアに

取り組んではいかがか。

市長 令和4年度から保健
師による健康教育を市内全
中学校で開始した。

質問 次期計画にヤングケ
アラー支援を入れるべきでは。

市長 次期計画に位置付け、
継続的に支援していく。

質問 「こどもまんなか社
会」をどのように実現するか。

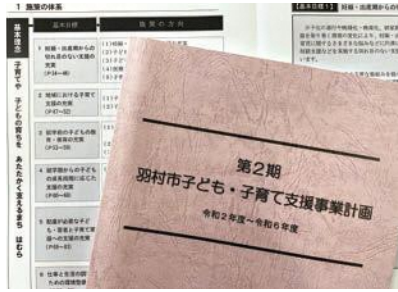
市長 限られた人員でより
質の高い市民サービスを提
供できる組織体制を整備し
ていく。

ごみ出しサポート事業を
実施してはどうか

質問 ごみ出しが困難な高
齢者や障害のある方を対象
に、別居している家族やホ
ームヘルパーが収集日以外
でもごみを出せるようにし
介護する人の負担軽減を図
ってはどうか。

市長 現在、個々に対応し
ているが、支援制度の拡充
について検討していく。

その他の質問
デジタル教科書導入
への市教育委員会の
対応について



令和6年度で計画期間が満了する第2期羽
村市子ども・子育て支援事業計画



《Q》1億円かかるという自転車おき場有料化の内訳は？

《A》精算機、自転車ラックに1億600万円などである



鈴木 拓也 議員（日本共産党）

駅周辺自転車おき場は、
無料を維持しよう！

質問 自転車おき場有料化
に1億円かかるというが、
内訳は。

市長 精算機、自転車ラッ
クに1億600万円、防犯
カメラが630万円、照明
が200万円、舗装工事に
1830万円、合計約1
億3260万円である。

質問 福生市は、平成10年
に有料化したのが、利用者が
減り、事業者への委託料を
増やさざるを得なくなった。
その結果、公費負担は、有
料化前より増えてしまった。

市長 詳細を把握していな
いので、答えられない。

質問 設備は最小限にとど
め、無料の維持を検討すべ
きではないか。

市長 受益者負担の観点か
ら、応分の負担を求めていく。
学校給食の無料化を
できるところから始めよう！

質問 小・中学校の給食の
完全無料化にはいくらかか
るか。

教育長 約1億8845万
円である。

質問 2人目、3人目から
の無料化はどうか。

教育長 それぞれ約530
0万円、670万円必要で
ある。

質問 完全無料は難しくても、2人目、3人目からス
タートしては。

教育長 財政負担の観点か
ら難しい。

質問 給食費値上げの議論
が行われると聞いているが、
スケジューリングは。

教育長 令和6年1月の給
食組合教育委員会で、判断
されると聞いている。



羽村駅東口第4自転車駐り場

《Q》 相対的貧困世帯における体験等の格差への支援は

《A》 経済的支援等を総合的に推進していく



野崎 和也議員（新政会）

アフターコロナ期の 家庭支援について

質問 市内の相対的貧困世帯の割合を把握しているか。

市長 厚生労働省の国民生活基礎調査結果では、令和元年の相対的貧困率は15.4%である。市町村別の集計はなく、羽村市の相対的貧困率を把握できない。

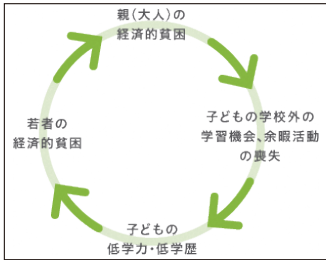
質問 相対的貧困世帯における格差対策は。

市長 必要なときに支援が受けられるよう情報発信をし、ニーズに応じた適切で

きめ細やかな支援の提供に取り組んでいく。

質問 体験の格差に関するどのような支援が効果的か。

市長 教育の支援、生活の



貧困の世代間連鎖のスパイラル図
(公益社団法人chance for children
ウェブサイトより)

安定に資する支援、保護者に対する就労支援、経済的支援等を総合的に推進。また、子供たちの体験の機会の創出に取り組む。

地域防災について

質問 児童が学校に宿泊することを前提とした親子防災宿泊訓練を実施してはどうか。

市長 子どもたちが避難所での宿泊訓練を行うことで

防災に関する意識の啓発ができ、家族や地域の防災力の向上にも繋がるものと考えられることから、今後、検討していく。

質問 令和5年度に予定している第一分団の消防ポンプ自動車入れ替えの進捗状況は。

市長 防衛省の補助金を活用する計画であり、令和5年5月31日付けで補助金の交付申請を行い、6月中旬に交付決定の予定である。



《Q》 区画整理の基本方針説明会を開くべきでなかったか

《A》 基本方針について広報はむらなどで市民に周知している



浜中 順 議員（日本共産党）

土地区画整理事業は現道を生かし、大幅な経費削減・権利者の負担軽減を

質問 法人市民税の大きな減収などを踏まえ、事業費の削減や住民負担の軽減は、大幅に確実に行うべきでは

また、市内道路改修の公平の観点、早期完了の観点からも広すぎる事業範囲を縮小すべきでは。

市長 現段階で、現行事業計画の今後を判断することはできない。

質問 権利者や市民に対し、検証に基づく基本方針の説明会はすぐに開くべきでなかったか。

市長 基本方針について、広報はむら2月15日号や市公式サイト、情報紙「まち

なみ」で関係権利者や市民に周知している。

心に問題を抱える方への自立・就労支援の強化を

質問 自立や就労支援の訓練を受けられる施設や受け入れ人数は十分あるか。

市長 市内には、就労を希望する方に訓練を行う、就労移行支援事業所が1か所、就労が困難な方へ生産活動の場を提供する就労継続支援事業所が4か所ある。市外の事業所も利用でき、訓練の必要な方はサービ

スを受けることができている。
質問 訓練を最後まで続けるための課題は何か。

市長 心身や生活面の安定を図ることが大切であり、関係機関が連携し心身の安定に向けた支援やサービス内容の再検討など対応が図

られている。



優先整備地区の羽村大橋からの3・4・12号線予定地

